2023年度 日本工学院専門学校											
建築設計科											
福祉と建築											
対象	1 年次	開講期	後期	区分	必修	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	岩田 明士			実務 経験	有	職種	建築設計 一級建築士				
担当教員紹介											
<p>アトリエ事務所勤務、住宅、美術館、学校など幅広く設計の実務を経験後、独立し設計事務所を運営する。 独立後は住宅建築を中心に医院建築などの設計監理業務を20年ほど行う。 資格:一級建築士、福祉住環境コーディネーター2級</p>											
授業概要											
<p>建築において福祉に関して教養として学んだ上で、福祉住環境コーディネーター検定試験に対応した演習問題を中心に取り組む。</p>											
到達目標											
<p>次の3点を到達目標とする。 ①高齢者や障がい者が暮らしやすい環境とは何か、建築視点の知識を身につける。 ②建築だけでなく、医療・福祉の分野の幅広い知識を身につける。 ③福祉住環境コーディネーター3級合格を到達目標とする。</p>											
授業方法											
<p>公式テキストに沿って講義する。講義は医療・福祉・建築の分野を体系的に幅広く、かつ総合的知識が身につくように行う。高齢者等のクライアントの千差万別なニーズに応えられるよう、各単元は複合的な視野から考えられる訓練を行う。 また、建築計画1における住宅に関する知識や、建築一般構造1の軸組構法も関連しているので、復習しておくこと。</p>											
成績評価方法											
<p>提出物、授業態度、平常点、などを総合的に判断する。</p>											
履修上の注意											
<p>出席は自己管理して出席不足にならないようにすること。授業時数の4分の3以上出席しない者は単位を認定しない。日本工学院授業心得（学生用）を守ること。</p>											
教科書教材											
<p>福祉住環境コーディネーター検定試験3級公式テキスト 福祉住環境コーディネーター検定試験3級 過去&模擬問題集</p>											
回数	授業計画										
第1回	バリアフリーとユニバーサルデザインの考え方										
第2回	生活を支えるさまざまな用具について										
第3回	住まいの整備のための基本技術（段差・床材・手摺・建具）について										
第4回	住まいの整備のための基本技術（幅・家具・冷暖房・非常時の対応・維持管理）について										
第5回	屋外移動・屋内移動・排泄・入浴について										

2023年度 日本工学院専門学校	
建築設計科	
福祉と建築	
第6回	清掃・洗濯・調理・就寝・妊娠に対する配慮について
第7回	ライフスタイルの多様化と住まいについて
第8回	安心できる住生活について
第9回	安心して暮らせるまちづくりについて
第10回	地域で取り組む福祉のまちづくり実践事例について
第11回	過去問演習（60%以上正解を目標）
第12回	過去問演習（70%以上正解を目標）
第13回	過去問演習（75%以上正解を目標）
第14回	過去問演習（80%以上正解を目標）
第15回	本試験を振り返り足りない知識を補いレポートを作成